

交通網問題対策等調査特別委員会 会議記録

- 1 期 日 令和7年9月19日（金）
午前9時26分 開会
午前9時58分 閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 石田 清
副委員長 須山 泰一
委 員 浅田 徹、加藤 勇貴、
西田 真、福田 嗣久、
森垣 康平、米田 達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主事 菅谷祐一
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

交通網問題対策等調査特別委員長 石田 清

交通網問題対策等調査特別委員会 会議記録

- 1 期 日 令和7年9月19日（金）
午前9時26分 開会
午前9時58分 閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 石田 清
副委員長 須山 泰一
委 員 浅田 徹、加藤 勇貴、
西田 真、福田 嗣久、
森垣 康平、米田 達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主事 菅谷祐一
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

交通網問題対策等調査特別委員長 石田 清

交通網問題対策等調査特別委員会 次第

日 時：2025 年 9 月 19 日(金) 9:30～

場 所：第 1 委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 委員会所管事項の現状について

【市長公室】 経営企画課

【但東振興局】 地域振興課

【都市整備部】 建設課、都市整備課

(2) 市道役場前線バスストップ整備事業について

【都市整備部】 都市整備課

(3) 委員会調査報告書（案）について

(4) 管外行政視察調査報告書（案）について

4 閉 会

交通網問題対策等調査特別委員会名簿

【委 員】

2025年9月19日現在

職 名	氏 名
委 員 長	石 田 清
副 委 員 長	須 山 泰 一
委 員	浅 田 徹
委 員	加 藤 勇 貴
委 員	西 田 真
委 員	福 田 嗣 久
委 員	森 垣 康 平
委 員	米 田 達 也

【当 局】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
市長公室長	谷 口 雄彦	城崎振興局 地域振興課参事	橋 本 郁夫
経営企画課長	真狩 直哉	竹野振興局 地域振興課参事	森 口 佳徳
都市整備部長	富 森 靖彦	日高振興局 地域振興課参事	上 野 和則
次長兼建設課長	久 田 渉	出石振興局 地域振興課参事	山 本 隆之
建設課参事	山 根 哲也	但東振興局 地域振興課長	大 岸 勝也
都市整備課長	堂 垣 俊裕		
都市整備課参事	武 中 孝寛		

12名

【議会事務局】

職 名	氏 名
議会事務局主事	菅 谷 祐一

交通網問題対策等調査特別委員会設置要綱

1 設置の目的

豊岡市の基幹交通網の整備をはじめ、市民生活の利便性等を高めるための公共交通機関の諸課題等について調査を行うため、地方自治法第109条及び豊岡市議会委員会条例第5条の規定に基づき、特別委員会を設置する。

2 委員会の名称

交通網問題対策等調査特別委員会

3 委員の定数

8名

4 付議事件

- (1) 北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）、但馬空港及び鉄道に関する調査研究等
- (2) 路線バス等地域公共交通に関する調査研究等

5 委員会の設置期間

調査完了の時期まで

6 調査の経費

議会費の中で議長の定める額

7 その他

設置期間中、議会の閉会中も継続調査できるものとする。

交通網問題対策等調査特別委員会重点調査事項（案）

2025. 9. 19

1 高規格道路に関する事項

- 北近畿豊岡自動車道の事業推進に関する事
- 山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の事業推進に関する事

2 但馬空港に関する事項

- 空港の利用促進並びに支援体制に関する事
- 東京直行便の実現に向けた事業推進に関する事

3 バス交通に関する事項

- 路線バス等公共交通の充実と利用促進に関する事
- スクールバスに関する事

4 鉄道交通に関する事項

- 鉄道交通の維持・存続並びに利用促進に関する事

5 新たな交通サービスに関する事項

- 自動運転技術の導入に関する事
- 自家用有償旅客運送等に関する事

午前9時26分開会

○委員長（石田 清） それでは、ただいまから交通網問題対策等調査特別委員会を開催いたします。

まず初めに、私からご挨拶申し上げます。

この期でいえば、最後の特別委員会になると思います。一旦ここで調査報告書の最終版を出して区切りたいと思っておりますので、最後の審議になりますが、よろしくお願いいたしますというふうに思います。よろしくお願いいたします。

それでは、委員会中の発言につきまして、必ず委員長の指名を受けてから、マイクを使用し、発言の最初に課名と名字をお願いします。

委員の皆さんには、Side Books 上のフォルダー、交通網問題対策等調査特別委員会2025、9月19日の中に配信しております資料をご覧ください。よろしいでしょうか。

それでは、協議事項に入ります。

まず、（1）委員会所管事項の現状についてを議題といたします。

それでは、経営企画課、そしてプラスアルファになりますけれども、但東振興局のほうからも説明があるようです。それから、建設課、都市整備課の順で説明をお願いいたします。

真狩課長。

○経営企画課長（真狩 直哉） 資料2ページをご覧ください。経営企画課からは、市民の移動の在り方検討についての進捗状況について報告させていただきます。

市民の移動の在り方について、庁内での検討会議を開催というところですが、国内の公共ライドシェアの状況に関する共有会を開催し、市内での活用の可能性について意見交換を実施したということです。2つ目としましては、各部局の施策を総合的、組織横断的に展開することにより地域課題の解決を図るため、分野・部署を超えた組織横断プロジェクトチームを組成しました。まずは但東地域をフィールドに分野を超えた住民の移動の仕組みというのを検討していく予定としております。

次の2番の高橋地区における住民の移動に関す

る取組の支援につきましては、但東振興局からお願いいたします。

○委員長（石田 清） 大岸課長。

○但東振興局地域振興課長（大岸 勝也） 2番の高橋地区における住民の移動に関する取組の支援についてご説明をいたします。

昨年度末に実施いたしました高橋地区乗合交通の試験運行の結果を基にしまして、現在、地域の住民の方と、それから庁内の関係課全て寄りまして、地域の住民、高橋地区の人にとってどういった移動が一番いいのかというのを現在検討いたしております。

既に8月に2回の検討会議を行っておりまして、9月と10月にそれぞれ1回ずつの検討を予定いたしております。以上です。

○委員長（石田 清） 次、建設課。

○建設課長（久田 渉） 次、4ページと5ページをご覧ください。北近畿豊岡自動車道の事業促進についてでございます。

前回、6月23日以降の進捗状況について説明させていただきます。

まず、2番になります。早期実現促進大会につきましては、資料の9ページになりますが、今年で30回目となる節目の大会であります8月9日に700人規模で盛大に開催され、最後には、門間市長の頑張ろう三唱で大会を閉じたところです。

また、3番の要望活動につきましては、当初、10月の6日と7日の両日で日程調整しておりましたが、総裁選の関係もありまして、今回は10月6日、近畿地方整備局のみの要望となり、国土交通省及び財務省の日程につきましては現在調整中となっております。

また、現在の工事の発注、進捗状況としましては、豊岡道路のⅡ期工事に係る豊岡出石インターチェンジオンランプの改良工事、それから戸牧地区の仮設の橋になりますけれども、この設置工事など、合計3件の工事が発注されているところです。

それから、次に、6ページ、7ページになります。山陰近畿自動車道の事業促進についてです。こちら

につきましても前回同様、進捗状況について説明させていただきます。

5 番及び 6 番の要望活動につきましては、先ほどの北近畿豊岡自動車道と同様となりますので、割愛をさせていただきます。

また、現行の工事の発注状況についてご報告いたします。まず、竹野道路の豊岡側、江野側につきましては、伊賀谷口の高架橋の下部工工事、並びに用地測量業務 2 件、それからトンネル部の水門調査業務が行われております。

また、竹野側につきましては、林地内の工事用の仮橋の設置工事、並びに林地区インターチェンジの詳細設計業務に加え、林高架橋の下部工工事、こちらにつきましては現在、入札準備中となっております。

次に、城崎道路につきましては、滝地区の東部と西部の地質調査業務、並びに新堂地区のジャンクションインターチェンジ、この付近で同じく地質調査業務など、合計 4 件の業務が発注されております。

建設課からは以上です。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 都市整備課から、6 月からの進捗状況について説明させていただきます。

10 ページをご覧ください。空港の利用促進と利便性の向上についてです。

まず、現況と課題についてです。赤字の追記した部分を中心に説明します。コウノトリ但馬空港の 8 月末時点の利用者数は、昨年同期に比べて 2, 740 人増の 1 万 6, 283 人となっており、コロナ禍前の水準へ順調な回復を見せております。

次に、進捗状況についてです。大項目 1 つ目の運賃助成や小学校社会見学事業による利用の促進についてです。（1）航空運賃助成事業につきましては、6 月から 2, 562 件増の 3, 499 件、（2）小学校社会見学事業では 4 校 73 件、（3）但馬－伊丹路線無料キャンペーンにつきましては 109 件増の 125 件など、8 月末現在の合計で 6 月から 2, 744 件増の 3, 699 件となっております。

次に、大項目 2 つ目の大阪・関西万博関連事業の実施についてです。ひょうごフィールドパビリオンツアーにつきましては、旅行代理店造成型で 32 名、豊岡市直営型で 11 名、個人参加型で 11 名の参加がありました。

次に、大項目 4 つ目の他団体や航空会社と連携した PR 活動、利用促進策の実施についてです。11 ページをご覧ください。（1）JAL コウノトリフォトコンテストにつきましては 130 件の応募がありました。表彰式につきましては、11 月 15 日に豊岡市立コウノトリ文化館で実施する予定にしております。次に、（5）コープデイズ豊岡「知っとる？但馬空港」での PR 活動を 9 月 6 日に実施しております。

次に、12 ページをご覧ください。バス交通の充実と利用促進についてです。

まず、1 点、ご報告があります。10 月 1 日から運行を開始します、竹野地域予約型乗合交通の愛称についてです。愛称につきましては、8 月 11 日から 9 月 7 日までの期間で愛称を募集し、22 件の応募の中から、一昨日開催しました地域運営協議会において、平仮名で「たけの～る」に決定しましたので、お知らせします。

次に、現況と課題です。赤字の追記部分を中心に説明いたします。市営バス「イナカー」につきましては、城崎大橋の開通による路線バスの運行開始に伴い、5 月末をもって赤石線の運行を終了したため、9 月 1 日現在、市内で 5 路線運行しておりますが、たけの～るの運行開始により 9 月末日で竹野海岸線の運行を終了することから、10 月 1 日以降は 4 路線で地域住民の外出を支援いたします。また、竹野南地区新交通モード実証運行につきましても 9 月末日で運行を終了します。

次に、6 月以降の進捗状況についてです。大項目 2 つ目の地域の実情に応じた交通体系とネットワークの構築についてです。（1）竹野地域予約型乗合交通「たけの～る」につきましては、10 月 1 日の運行開始に向けて地域運営協議会設立準備会を 7 月 23 日に実施しております。13 ページをご覧

ください。関係者との協議が調ったことから、8月20日に第1回地域運営協議会を開催しております。

次に、大項目4つ目の、運行事業者、地域と協働したモビリティマネジメント及びバス利用の機運醸成を図るイベントなどの実施についてです。まず、(2)豊岡ノーマイカーデーの実施についてです。販売枚数は、6月からの進捗ですが、第2水曜日で51枚増の277枚、第4金曜日で89枚増の302枚、計140枚増の579枚となっております。次の(3)豊岡のってECOの実施については、8月末時点で大人1,468枚、子供100枚、計1,568枚となっております。

次に、14ページをご覧ください。最後に、鉄道交通の利用促進についてです。こちらにつきましても6月以降の進捗状況について説明させていただきます。

大項目1つ目のJR山陰本線の維持存続に向けた取組の実施の(1)維持存続に向けた機運醸成と利用促進策の実施についてです。アの乗って守ろう!竹野駅ペイの実施についてです。昨年度に引き続きの実施となりますが、切符購入金額に対してその約2割をクーポン券で配布するものです。8月末の発行枚数は2万枚、利用枚数は1万8,526枚となっております。次に、15ページをご覧ください。オの協議会等での協議の状況についてです。

(ア)JRローカル線維持・利用促進協議会を7月28日に、(イ)JR山陰本線活用協議会を6月19日に実施しております。

最後の大項目2つ目の京都丹後鉄道の運行支援の(3)協議会等での協議につきましても、イ、京都丹後鉄道に係る安全連絡協議会を7月10日に実施しております。

都市整備課からの説明は以上です。

○委員長(石田 清) 以上で説明は終わりました。

質疑、意見等がございますか。ありませんか。

どうぞ。

○委員(福田 嗣久) 何もなしでは終われん。

経営企画課のことで、まず、赤字で書かれています

進捗状況のところで、(2)の但東地域をフィールドに分野を超えた住民の移動の仕組みを検討していく予定とありますけれども、当局としてどのような考えがまずベースにあるのかということが1つ。

それから、もう一つは2番の高橋地区の件ですが、のんなるかーで2回、意見交換会をしたというお話でしたけれども、どのような意見が出たか、ちょっとかいつまんで教えていただきたいと思います。

以上、2点、お願いします。

○委員長(石田 清) 真狩課長。

○経営企画課長(真狩 直哉) 但東のプロジェクトチームの関係ですけれども、昨年度、のんなるかーということでやりました。実際、システムを使つてのというようなことまではどうかなといったような意見も踏まえる中で、移動っていうのは考えていくんですけども、あと、人だけでなく荷物なども一緒にというようなこともできないかなとか、あと、それを運営するのはどうしたらいいかだとか、それから、ここには移動のことだけ書いてますけれども、それ以外にも例えばコミセンとかあったときには、今までコミセンという特定の機能だけをしていていうところにいるんな機能を持たせるだとかっていったようなことができないだろうかとかっていったようなことも、総合的にちょっと考えていきたいなというふうに考えています。その中の一つに移動のこともあるというようなことです。

○委員(福田 嗣久) 中にね、はい、分かりました。

○委員長(石田 清) 大岸課長。

○但東振興局地域振興課長(大岸 勝也) 高橋の移動に関する取組の会議、2回ほどの中で出た意見ということですが、1回目、8月7日にした分については、昨年度の振り返りをしてしております。アンケート調査ですとか、そういったこと、データもかなり取っていただいてましたので、そういったことの振り返りをして、こういった状況が今の高橋ではありますよねっていうことを再確認をさせていただきました。

8月の20日ですけれども、ようやくそこから、今度は本当に但東にとって、高橋地区にとってどう

いった移動が合ってるのか、のんなるかーが合ったのか、いやいや、そうではなくて、のんなるかーの中のこの部分かは駄目だけどこっちはよかったとかいうことをいろいろと検討しながら、今、洗い出しをさせていただきました。

これ3回目、4回目を重ねることによって最適な方法、例えば県外を超えた移動はどうしたらいいのかとか、そういったことも含めてお話をさせていただいて、高橋地区にとって一番いい移動方法を考えればいいのかというふうに考えてます。

○委員長（石田 清） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 最初、真狩課長のほうからありました、交通の手段だけではなしに物流といいですか、そういったことも含めたり、コミセンのことも含めたりということで、そういう複合的に考えるのは多分いいんだろうなという気は私もしておりますので、実のなることになるような形の方向性をしっかりと住民の皆さんも一緒になって考えていただけたらということを思っております。

それから、次に行きますけれども、もう一つ、どこだったかな、堂垣課長が説明いただいた一番最後のほうの、何ページだったけえな、13ページです。4番の（3）のってECOの件ですけども、大変値打ちがある制度をつくっていただいたなと思っておりまして、これを見させていただくと、7月から11月、いつまでか知りませんが、大人1,468、子供100枚、計1,568人利用されたということで、よろしいですね。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 利用されたっていうのは正確でなくて、販売枚数でしか確認できておりませんので、販売枚数が合計で1,568枚ということになります。

○委員（福田 嗣久） 販売できたということは、利用しようということで買われてるんだろうからな。利用せんのを買ったかせんから、基本的にはだよ。非常に多くの人利用されようとしているということで、理解をしましたけれども。

その中で、地区で、せっかくのことだから、イベ

ント的に20周年ということが冠としてありますんで、地区で例えば玄武洞に小旅行しようやとか、老人会とか、そういう話はあるんですか。例えば10人ほどまとまって遊びに行ってみようやとか、これを使ってですね。その辺はいかがですか。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） そういった、実際どういった方がどういうふうに使われたっていうことが、まだ現在細かいところは確認できておりません。

○委員（福田 嗣久） なるほど、はい、分かりました。確認ができてないということは、それはそれでいいんですけども。

○委員長（石田 清） 大岸課長。

○但東振興局地域振興課長（大岸 勝也） 参考までに。資母地区、資母コミュニティのほうで夏休み、8月8日に資母地区の子供たち十数人を連れて、これは豊岡までのってECOの500円のチケットを使って行っております、1日かけて。子供たちだけで、10人行ってます。

○委員長（石田 清） よろしいか。

○委員長（石田 清） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） そういう使い方もあるのかなと思ってましたんで、そういう使われ方が実際あるとすれば、非常に有意義なことだなというふうに思います。

というのは、大変広範囲のまちですんで、やっぱり知らないところたくさんあるんで、こういった機会にそういう使い方してもらえたらいいんじゃないかということはちょっと思ってたんで、非常に結構です。

○委員長（石田 清） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） それでは、ないようですので、以上で委員会所管事項の現状についてというところは終わります。

次に、（2）番、市道役場前線バスストップ整備事業について、都市整備課、説明をお願いします。堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） そうしましたら、都市整備課から、市道役場前線バスストップ整備事業について説明させていただきます。

資料の、まず2ページ目の平面図をご覧くださいと思います。2ページ目に平面図つけているんですけども、場所が日高振興局の中にあります旧テニスコートの跡地で、ピンクで着色している部分が該当します。

1枚戻っていただきまして、目的から説明させていただきます。目的としまして、日高神鍋高原インターチェンジ、JR江原駅からの距離が近い日高振興局の旧テニスコートに高速バスのバスストップ及びパーク・アンド・ライド駐車場を一体的に整備することにより、高速バス、路線バス、市営バス「イナカー」、JRなどの様々な交通手段をつなぐ交通結節点を新たに創出し、公共交通利用者の快適性、利便性、速達性の向上を図るということを目的としております。

次に、2番の現状です。日高バスストップは北近畿豊岡自動車道を運行する高速バスのバスストップとして整備を行う交通拠点に位置づけられており、兵庫県、但馬3市2町が策定した但馬地域公共交通計画で計画化されており、北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道バスストップ設置連絡協議会において、日高バスストップの位置は日高振興局の旧テニスコートとする合意がなされております。和田山インターチェンジ、また、道の駅ようか但馬蔵は既に整備済みであります。

今年度は、現在、詳細設計を実施しております。この財源としまして、道路事業の社会資本整備総合交付金を活用しております、そういうこともあって、市道役場前線バスストップ整備事業と、そういう名称にしております。

次に、今後の予定です。市道役場前線バスストップ整備事業は来年度、2026年度から工事着手の予定でありましたが、建設課で実施の道路事業を含む社会資本整備総合交付金が入札残や事業費の精査により不用額が見込まれております。そのため、12月の補正予算でお認めいただけるならば、社会

資本整備総合交付金を有効に活用し、市道役場前線バスストップ整備事業の工事を前倒しで実施したいと考えております。

なお、詳細設計の完了が年度末となるため、工事費は全額繰り越す予定にしております。

都市整備課からの説明は以上です。

○委員長（石田 清） 説明は終わりました。

質疑、意見等はございませんか。

米田委員。

○委員（米田 達也） 先日、この市道役場前線の説明、建設経済でもらったとき、ちょっと僕、聞きたくて、ほかの委員から、これ旋回するのがスペース的にどうかという質問があったときに、進入路がこの祢布ヶ森の遺跡公園の西側から進入するっていうふうな説明があったかと思って、抜けるときは、今、矢印の2番のそこから出ていくっていうような説明があったかと思うんですけど、進入路の幅が結構狭いと思うんですけど、バスで入るのって。そこでちょっと拡幅したりとかっていうことをされてあれでされるんですか、そのまま使われるんですか。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 現時点では拡幅の計画はございません。

ただ、大型バスの軌跡を確認して、必要であれば隅切りをするだとか、そういったことがもし必要であれば、その辺も考慮して整備はしていきたいと思います。

○委員長（石田 清） 米田委員。

○委員（米田 達也） ありがとうございます。

ちょっと多分、大型バスが出入りするには狭いん違うかなと思うんですよ、そっちの西側って。そこを十分、国分寺線から祢布ヶ森遺跡公園に入られて、振興局の前に右折しますよね。そこが多分、結構大型バスが回れるのかなって思うんですけど、十分回れるぐらいのスペースはあるんですか。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 今、現時点の冬場に、大新東っていうバス会社さんが冬だけ利用されて

るっていう実態がありまして、そこはあまり問題にならずに運行はされてるというふうに聞いてますので、細かい検討はまだできてませんけども、恐らく大丈夫じゃないのかなというふうに思ってます。

○委員長（石田 清） よろしいですか。

○委員（米田 達也） もういいです、大丈夫です。

○委員長（石田 清） そのほかございませんか。

○委員（福田 嗣久） もうちょっと、一つだけ。

○委員長（石田 清） はい。

○委員（福田 嗣久） この今の駐車場、結構かと思えますけれども、2, 300平米でどれぐらい駐車場としては整備、止めれるような形にしますか。100台ぐらいか。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） その辺も含めて、今、詳細設計で検討しているところです。まだ台数を幾らにするとかっていうところまで決めてないのが実情です。

○委員長（石田 清） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） それはそれで結構ですけど、もちろん無料ですわな。

○委員長（石田 清） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 無料で考えております。

○委員（福田 嗣久） そうでしょうね。

はい、結構です。

○委員長（石田 清） 浅田委員。

○委員（浅田 徹） 何遍もこれ言ってるんですけども、先ほど米田委員が言われたように、バス専用というか、全てここにターミナル機能を含ませるいうときに、公共施設がある、公園がある、さらに振興局の中には図書館もあるということになったときに、やっぱりこのアクセス、いいんですけど、この通り、非常に脆弱な、幅員が狭過ぎるということ。軌跡描いたらすぐ分かるんですけど、はみ出て、ほとんどのレーンを全部使ってしまうとバスが回り切れないということがあります。

そうなったときに、こういう公共施設ですから、やっぱり歩行者の安全ということになったときに

は、特に歩道の関係、つまりこの施設に行く歩行者の安全確保。公共交通、まさにこのバスターミナルが、そこが肝要かなと思っておりますので、十分、まずこれをご検討されたいということと、やはり言い方悪いですけども、こういう施設の中にバスをどんどん入れるということ自体、僕はちょっと問題があるなと思っています。交通広場だったら、この2, 300の中で、正方形に近いんだけど、当然アクセス、インとオフは別々にして、当然、回転して出すぐらいなことのほうが。これ全てのバスを、バス路線で集中路線になるんで、重要な、特に公共施設、駐車場、こういうことの中を通すというのは、やっぱりちょっと再検討されたほうがいいのかと。するにしても幅員確保です。反対車線にバスがはみ出て回転してないような軌跡を描くわけですけども、やっぱり安全対策と幅員が、僕は直感的には狭過ぎる、これは思ってますので、十分設計、実施設計の中で、それも含めて、ダイナミックにやはり交通広場としてだけで収束するにはここで回転させるっていうのも一つの方法かなと思ってますので、その辺も重々。ある道路があるからそこを使うんやという、ちょっとそういう思想はあまりよろしくないということをおっしゃいます。

以上で終わり。これは要望と意見です。

○委員長（石田 清） そのほかございませんか。

なければ、これで市道役場前線バスストップ整備事業についてのやり取りはおしまいにしたいと思います。

当局の職員の方は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

それでは、（3）番、委員会調査報告書（案）について、議題といたします。

本委員会の調査報告書についてであります。委員会として4年間の任期も間もなく終了しようとしておりますので、市議会会議規則第101条の規定により、9月定例会の閉会日に当委員会の調査報告を行いたいと思いますが、この点、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） 異議がないようですので、
そのように決定しました。

それでは、過日配信しました委員会調査報告書
（案）につきまして、修正等のご意見はございませ
んか。ご意見等がありましたら、ご発言願います。
ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） それでは、お諮りいたしま
す。委員会調査報告書（案）については、正副委員
長に一任願いたいと思いますが、ご異議ございませ
んか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） 異議がないようですので、
そのように決定いたしました。

続いて、（４）管外行政視察報告書についてを議
題といたします。

こちらも過日配信させていただいております。修
正等のご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） お諮りいたします。管外行
政視察報告書については、正副委員長に一任をお願
いしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） 異議がないようですので、
そのように決定しました。

なお、この委員会調査報告書、それから管外行政
視察報告につきましては、今期定例会閉会日に配信
する予定となっておりますので、ご承知おきくださ
い。

この際、何かご発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（石田 清） ないようですので、以上を
もちまして委員会を閉会いたします。お疲れさまで
した。

午前９時５８分閉会
